

知っところ!!!

春号 No.141/2025/ Spring

森林組合つうしん

森だより
(141)



写真：山元貯木場舗装工事完成（天若寺谷・森林組合所有地）

も	令和6年度 通常総代会の報告・・・P1	森の道具屋・総務課 椎茸菌入り原木 他・・・P4
	事業1課 令和7年度森林整備計画他・・・P2	新プロジェクト始動 わかばプロジェクト・・・P5・6
く	事業2課 山元貯木場大活躍!! 他・・・P3	市況・編集者の独り言・・・P7

発行責任 日吉町森林組合

〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1

E-mail h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp

Tel 0771-72-0017

Fax 0771-72-1375

森林組合WEBサイト

日吉町森林組合



通常総代会の報告

去る、3月22日(土)午後、南丹市日吉町産業振興会館の3階をお借りして「令和6年度（第58事業年度）通常総代会」を開催いたしました。

例年は南丹市日吉町生涯学習センターで開催しておりましたが、改修工事中のため森林組合事務所建物（産業振興会館）3階での開催となりました。ただ、3階ホールの空調設備に不具合があるため、総代の皆様には失礼ながら可能な限り書面議決の提出をお願いしました。当日は、議長をお願いした下保野田地区総代の藤林吉範様の出席と、事前に提出いただいた書面議決148名により、総代の過半数に達し総代会が無事成立いたしましたことを報告いたします。

組合員の皆様には、お送りいたしました議案書にて詳細をご確認いただければと思いますが、令和6年度は主力事業である森林整備事業において、間伐面積、木材生産量とも当初計画量を達成することが出来ました。危険木伐採事業や公共事業においても計画売上額を達成し、事業総取扱高としては初めての5億円を超えることが出来ました。その結果、税引前当期純利益8,105千円で、組合員の皆様への出資配当金を5%とさせていただき、議案を提出させていただき、その他の議案を含め、全て原案通り可決承認されました。

総代の皆様には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。また、全ての組合員の皆様に、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げまして、通常総代会の報告とさせていただきます。

なお、書面議決提出に合わせて組合員の皆様から、森林組合に向けてのご意見ご要望を多数いただいております。頂きましたご意見ご要望に対する森林組合としての回答につきましては、次号の森林だより142号（夏号）にて掲載いたします。回答までに少しお時間をいただくことになり申し訳ございませんが、ご了承いただきますようお願いいたします。



代表理事組合長 塩貝 文明



下保野田地区総代 藤林 吉範 様

事業 1 課

令和 7 年度の森林整備計画について

3/22(土)の第 58 回通常総代会でご承認いただいた、令和 7 年度の事業計画のうち、森林組合の主要事業である森林整備事業計画量は、間伐面積 140ha、森林作業道開設延長 9,500m、木材生産量 14,900 m³としております。危険木伐採工事などの請負工事を含めた森林整備事業取扱高は 27,700 万円、事業総取扱高 49,094 万円を目標としています。

令和 7 年度は以下の地域で森林整備を計画しています。

保野田：黒尾、二反田周辺 畑郷：鏡坂、東谷上、奥山 田原：片谷、大野谷

佐々江：道奥谷、ヒダニ 生畑：柏木谷、大拍子、ハリマ岳 木住：イワシヶ谷

木住：鼻ノ奥、中世木：東牧山、空ヶ谷 天若：西ミノ谷、滝日谷 殿田：城山、宮西
上記以外にも、森林整備をご希望されるエリアや所有林がございましたら、森林組合までご連絡ください。

殿田小学校・6 年生の記念植樹をお手伝い

殿田小学校から「6 年生の卒業記念に何か木を植えることは出来ないでしょうか」とご依頼をいただき、植える木の種類など一緒に考え 3 月 7 日(金)に 6 年生と一緒に無事植樹させていただきました。京都新聞にも



取り上げていただきましたので、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、運動場の西側（道路側）に 2 本植樹しています。散歩などで通られた時はご覧いただければと思います。



所有山林の皆伐や択伐をされる時はご相談ください!!

これまでからもお願いをしておりますが、大切な事ですので今号でもお伝えさせていただきます。

森林組合が実施している森林整備事業（間伐・作業道開設など）は、国からの補助制度を活用しています。この補助制度は、森林の有する多面的機能を発揮させるために行う、間伐や森林作業道の開設などを支援する事業と位置付けられています。そのため、この補助制度を利用して間伐や森林作業道の開設をした森林については、一定期間において皆伐等はできません。もし皆伐等を行い、補助制度の本来の目的が達せられない森林になってしまうと、国から補助金の返還を求められます。補助金の返還を求められた場合は、**対象の所有者にご負担いただくこととなります。**

こういった事態とならないためにも、所有者の皆様にご注意喚起させていただいております。ご理解いただき、繰り返しになりますが所有林で皆伐などをお考えの際は、事前に森林組合までご相談ください。

事業 2 課

京都府林業大学校 1 年生～インターンシップ研修～

今年も京都府林業大学校 1 年生の 2 名が、インターンシップ研修として 3/3(月)～3/7(金)までの 1 週間来てくれました。「石田 快さん」と「小酒井 光季さん」です。

前半はあいにくの天候で、薪の引取り草刈後の草の収集などをしてもらい、後半は天気も持ち直したので作業道開設のための先行伐採と、植林のための獣害防護柵の設置を手伝ってもらいました。

前半の、草集めは二人とも「あんまり楽しくないです」みたいな表情でしたが、伐倒作業は生き活きとしていました(笑)。林大生として残り 1 年ですが、しっかりと勉強して林業の世界へ就職してもらえんことを期待します。



(写真：石田 快さん)



(写真：小酒井 光季さん)

山元貯木場大活躍！！

前回の森林だより (140 号) でお知らせしておりましたが、天若寺谷に森林組合が所有していた土地を国の「林業成長産業化促進対策事業補助金」を活用して、コンクリート舗装への改良と給水施設及び電気施設の設置を行いました。

前号では 1 月末の完成を目指しておりますとお伝えしておりましたが、無事 1 月 20 日に完成いたしました。早速原木貯木場として活用しています。現在木材搬出をしている現場の既存アクセス道が狭く、3tトラックで現場から山元貯木場へ運送し、そこから大型トラックにて各出荷先へ輸送しています。



今年の木材搬出計画量も、14,900 m³と達成するのは簡単な数字ではありませんが、山元貯木場もフル活用しながら、目標達成に向け頑張っています。

森の道具屋

好評！椎茸菌入り原木

皆様から多くのお問い合わせをいただいておりますしいたけ原木ですが、絶賛発売中です。森林組合で販売している椎茸原木に植菌しているシイタケ菌はお馴染みの「115」という種類の菌です。

「115」という菌種は、超厚肉のジャンボ椎茸が収穫できると人気です。この「115」の形成菌といわれる形態の菌を原木に植菌しており、植菌年の1年ほど木から発生しやすくなると言われています。

シイタケの発生時期は「冬・春」の2回とされていて、晩秋に、原木置き場の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下になると発生量が多くなると言わ



れています。冬から春にかけての低温乾燥の気象条件下では成長が抑制されるため、原木置き場の最高気温が10℃～13℃の日が続くと本格的に発生すると言われています。今年の晩秋から来年の春にかけて椎茸狩りを楽しんでみませんか。



総務課

組合員名義等に変更ありませんか？

組合員の御名義に変更はございませんか。相続で組合員の名義が変更になったり、売買で所有山林が「無くなった、減った、増えた」などございましたら、森林組合へ御連絡ください。御連絡いただけていないと、組合からの書類送付の宛名がお亡くなりになられた方のままであったり、賦課金額に誤りが生じてしまいます。

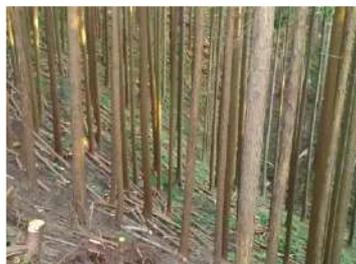
時々、「法務局で相続登記したのに、組合からの郵送物の宛名がまだ変わっていない」「相続の手続きは組合にも必要なの？」などの問い合わせをいただく事があります。法務局で登記した情報が森林組合へ提供されることはありませんので、名義等が変わられた際には、法務局とは別に組合へも御連絡いただくようよろしく願いいたします。御連絡いただいた方には、変更手続きに必要な書類をお渡ししますので、日吉町森林組合・総務課までご連絡をお願いします。

※本人確認書類の写し(免許証・保険証等)が必要となります。予めご了承ください。

新プロジェクト始めます！

日吉の森復活作戦開始から今年で 28 年

手入れの遅れている町内スギ・ヒノキ人工林を蘇らせようと、平成9年から始めた「日吉の森復活作戦」が今年で28年目を迎えます。伐った木を山に置いておく伐捨間伐から、木材を搬出・販売する利用間伐へと遷移し、所有者へ木材販売代金の一部を返却してきました。この取組が「提案型集約化施業」と言われ、林業の一つのモデル事業として取り上げていただき、天皇杯までいただくことが出来ました。



伐捨間伐写真



利用間伐写真

日吉町内の森林は新たな局面へ

町内の人工林においては、日差しが射し込む森林も増え、まだ整備をしないとイケない森林はあるものの、「日吉の森復活作戦」開始当初の目的は達成できてきたと思います。そんな中、以前から町内の森林において解決したい案件があり、その解決に向け今年度から本格的に活動を始めようと考えております。その解決したい案件とは「皆伐後の造林未済地（植林をしない森林）の解消」です。

15年程前までは、町内の「造林未済地」の面積は25ha程だったのですが、その後の10年間で約2倍へと面積が増加しています（下の写真は一例）。



近年は、収益を得るという目的以外に「子供に山という負担を引き継がせたくない」、「跡継ぎは居ないので今のうちに山の処分をしたい」、「複数人での共同所有の山を処分したい」など様々な理由を背景に皆伐が増えています。

こうした理由で皆伐をする山に対して、改めて植林をされる方はおられませんし、そもそも今の木材価格で皆伐をして収益を得たとしても、再造林や下刈りなどの施業費用を賄うことは出来ません。結果、造林未済地が増え続けているという訳です。

しかしながら、地域森林の管理を担わせていただいている森林組合としては、造林未済地が増えないように、また、既にある造林未済地を何とか山に戻したいと考えています。

わかばプロジェクト始動！



そこで令和7年度から新たな取り組みとして「未来の世代に、誇れる森林を残そう」をスローガンに、日吉の森復活作戦 Ver2.0『わかばプロジェクト』を始動いたします！！この新プロジェクトは、造林未済地の解消と新たな造林未済地を生まないことを目的としていますが、もう一つ目的があります。それは、所有者が森林を所有していることを誇りに思っていていただくということです。そのために、地域の人たちに愛される、地域の人たちが誇れる森林を、地域の方々と森林所有者、森林組合がひとつになり作りあげていきたいと考えています。

このわかばプロジェクトでは以下の3つの取組みを柱に活動を進めて行く計画です。

1. 日吉の子供たちと森林の大切さを学び、
森林づくりの楽しさを体感する機会の創出
→植樹体験や森の中での森林学習、
苗木作りのためのどんぐり集めなど



2. 所有者、組合員、地域住民の方々との連携を強化
→子供たちが集めたどんぐりで苗の生産、
獣害柵見回りなどによる雇用の創出



3. 関連企業にも積極的に参画いただき、森林の現状を知っていただく
→製材所や工務店等にも植樹活動に参加していただき、また地域材の積極利用について協定を締結し、安定的な供給先の確保に務める
→木材を使っていただく側にも、林業が置かれている状況や課題、木を育てることの大変さを学んでいただく機会を設ける。

新しく始めるプロジェクトですので、進みだすと様々な課題や問題が発生することと思いますが、組合員の皆様、地域の皆様、森林組合が一つになり、より良い森林づくりに向けて進んでいければと考えております。ご協力よろしくお願いたします。



木材市況

(資料提供・北桑木材センター R7.3.17)

スギ	中目	4m×18~24 cm	¥ 14,000~17,000	スギの中目材は競合し引き合いが強くなり高値となりました。 合板材・パルプ材については依然として引き合いが強いです。
	〃	4m×24~30 cm	¥ 18,000~20,000	
	柱	3m×16~20 cm	¥ 13,000~15,000	
	〃	6m×16~20 cm	¥ 15,000~18,000	
	元木・良材	4m×24 cm上	¥ 30,000~35,000	
ヒノキ	中目	4m×18~24 cm	¥ 19,000~20,000	
	〃	4m×24~30 cm	¥ 22,000~24,000	
	柱	3m×16~20 cm	¥ 13,000~15,000	
	〃	6m×16~20 cm	¥ 18,000~20,000	
	土台	4m×14~16 cm	¥ 13,000~14,000	

編 集 者 の 独 り 言

進級、進学、就職と新しい門出の時期ですが、今年も森林組合にフレッシュな顔ぶれが入ってきてくれます。大変喜ばしいことに、ここ数年で一番多い人数（5名の予定）となります。本編でもお伝えしましたが、今年は新しい取り組みも始まります。期待と不安が入り交じりどんな年になるかと色々と考えている時に、ラジオからこんな言葉が流れてきました。

『花よりも花を咲かせる土になれ』

これは石川県星稜高等学校野球部名誉監督・山下智茂氏の座右の銘で、「生徒たちが人生の花を咲かせるための土になりたい」との思いが込められているそうです。素敵な言葉です。

「わかばプロジェクト」のスローガンは「未来の世代に 誇れる森林を残そう」です。日吉町の森林が、所有者・地域の方々・森林組合の若い職員が誇れる森林であり続けられるよう、その土台をしっかりと作っていきたいと思います。

余談ですが、この「花よりも花を咲かせる土になれ」という言葉に感銘を受けたベリーグッドマンという歌手（日本人グループ）が、山下智茂氏了解のもと同名の歌を作っています。NHKのみんなのうたでも流れていますが良い歌です。お勧めです(*^-^*)。お時間があれば一度お聴きください。 編集者：小林